

日本一健康な土づくり運動 展開中!



青森県では、安全・安心な農産物を安定供給するため、すべての農業者が「健康な土づくり」に取り組むことを目指す「日本一健康な土づくり運動」を展開しています。

健康な土づくりとは?

農作物が良く育つ土壌環境を整えるため、土壌診断に基づいて、肥料や堆肥などを適量施用し、深耕や輪作などを組み合わせた管理を行い、土壌の**物理性・化学性・生物性のバランス**がとれた土をつくることです。



その1 土壌診断に基づく土づくりの実践

田んぼや畑、樹園地の土壌を化学的に分析し、診断結果に基づいて必要な肥料成分を必要な量だけ施用することで、作物が丈夫に育ち、安定した収量と品質を確保することができます。また、無駄な肥料を減らすことは、経費の削減や環境にやさしい農業の実践につながります。

県内では、J A全農あおもり土壌分析センターをはじめ、一部の農協、市町でも土壌分析を実施しています。



その2 堆肥などの有機質資源の活用

堆肥には土壌の硬さや水持ちなどの物理性を改善して作物の根張りを良くする効果があるほか、堆肥に含まれる肥料成分により、化学肥料の使用量を減らすことができます。

また、稲わらや緑肥作物のすき込みも同様の効果が得られます。



その3 環境にやさしい農業の実践

土づくりを実施し、作物が丈夫に生育すると病害虫に強くなり、農業や化学肥料の使用を減らすことができます。

環境にやさしい農業の取組を認定する制度として、エコファーマー認定や青森県特別栽培農産物認証、有機農産物認証などがあります。



<あおもり堆きゅう肥品評会の開催>

家畜ふん尿処理技術の向上と堆きゅう肥の利用促進を図るため、堆肥の品質や成分を評価し優良な生産者を表彰する品評会が(社)青森県畜産協会主催で平成19年度から開催されています。

また、入賞した堆肥を含め、耕種農業者への活用を啓発するため、堆肥展示会も開催しています。



「あおもり土づくりの匠」を認定しました

本県の健康な土づくりをリードし、県内の生産者の模範となる高度な土づくりに取り組む生産者を「あおもり土づくりの匠」として認定する制度を創設しました。平成24年度に認定された11名を紹介します。

「あおもり土づくりの匠」はどんな人？

1 農産物を生産する耕種農業部門

- ① 土壌診断や堆肥等の有機質資源を活用し、良質な農産物を安定的に生産しており、他の生産者の模範となるような技術や知識を有している
- ② エコファーマーなどの環境にやさしい農業に取り組んでいる

2 堆肥を生産する畜産農業部門

- ① (社)青森県畜産協会主催の堆きゅう肥品評会で3回以上入賞した良質な堆肥を生産し、供給している
- ② 生産した堆肥が周囲の生産者に利用されている



「あおもり土づくりの匠」の主な役割

周囲の生産者に、自身の土づくり技術の指導を行うほか、消費者等に対する情報発信などでも活躍してもらうこととしています。

平成24年度に認定された「あおもり土づくりの匠」

(①主な品目 ②取組内容 ③地域等への貢献等 ④環境にやさしい農業実践状況等)

桑田 税 (青森市)



- ① トマト (施設)
- ② 自家製の稲わら堆肥の施用や土壌診断に基づく適正施肥、独自の生育診断(観察)によるきめ細やかな肥培管理などにより、安定した収量と品質を確保
- ③ 農業専門誌への記事投稿や視察受入などで自らの技術を広めるほか、過去に農協のトマト部会長を務めるなど、本県の夏秋トマト産地育成に尽力
- ④ エコファーマー認定者(野菜)

川村 公夫 (弘前市)



- ① トマト (施設)
- ② 地元農協のもみ殻堆肥や微生物資材の施用、土壌診断に基づく適正施肥、独自の養液土耕栽培システムによるきめ細やかな肥培管理により、安定した収量と品質を確保
- ③ 研修生や視察受入などで自らの技術を広めるほか、県農業経営士、弘前市アグリ・マイスターとして地域農業をリード
- ④ 青森県特別栽培農産物認証(トマト:農薬・化学肥料5割以下)

木村 俊雄
(平川市)



- ① りんご、もも
- ② 購入したバーク堆肥と有機質肥料の施用や土壌診断に基づく適正施肥により安定した収量と品質を確保
- ③ 周囲の生産者に対し、品質向上のための堆肥施用による土づくりを広めるほか、JA津軽みらい「津軽もも生産部会」部会長として部会員をリードし、本県のももの産地育成に尽力
- ④ 青森県特別栽培農産物認証（りんご：農薬5割以下、無化学肥料）

工藤 憲男
(平川市)



- ① 水稻
- ② 稲わらすき込みや土壌診断と稲の作柄状況に基づく適正施肥（ケイカル施用等）により、安定した収量と品質を確保
- ③ 地元の良食味・高品質米生産を目指した研究会に参画するほか、県農業経営士として後継者育成に尽力
- ④ 青森クリーンライス（農薬節減米）

泉山 茂
(南部町)



- ① りんご、西洋なし（ゼネラルレクラーク）
- ② 購入した牛糞バーク堆肥の施用や土壌診断に基づく適正施肥により、安定した収量と品質を確保
- ③ JA八戸果樹総合部会「ゼネラル・レクラーク専門部」の部会長として、産地育成はもとより、部会員のエコファーマー認定やGAP手法の導入などに先導的な役割を果たしているほか、県農業経営士として後継者育成に尽力
- ④ エコファーマー認定者（果樹）

(有) 瑞宝 代表
三上 新一
(中泊町)



- ① 水稻、大豆、小麦
- ② 自家製のもみ殻堆肥の施用や稲わらのすき込み、土壌診断に基づく適正施肥、輪作や緑肥作物の作付などの土づくりを実践し、天候に左右されず安定した収量を確保
- ③ 県名誉農業経営士や中里町自然農法研究会の会長を務め、地域内での堆肥生産や有機栽培取組者の育成等に尽力
- ④ JAS有機認定者（水稻、畑作、野菜）

吉田 誠也
(つがる市)



- ① 中玉トマト、メロン
- ② ぼかし肥料を主体とした施肥や土壌診断に基づく適正施肥、輪作などにより、安定した収量と品質を確保
- ③ 仲間たちと組織するトマト生産組織の組合長を務めるほか、県農業経営士会の会長として、後継者育成に尽力
- ④ エコファーマー認定者（野菜）

福士 忍頭
(板柳町)



- ① りんご、おうとう
- ② ぼかし堆肥の施用や土質に合わせた適正な肥培管理により、安定した収量と品質を確保
- ③ 地元の有機農業研究会への参画や板柳町りんごまるかじりガイドライン委員長として、栽培ガイドライン策定に携わってきたほか、県農業経営士として研修生受入など後継者育成に尽力
- ④ 青森県特別栽培農産物認証（りんご、おうとう：農薬5割以下、無化学肥料）

山田 正
(十和田市)



- ① ねぎ、ながいも、にんにく
- ② 牛糞堆肥の施用や土壌診断に基づく適正施肥、輪作や緑肥作物の作付などの土づくりにより安定した収量と品質を確保
- ③ 家畜糞堆肥と稲わら交換などの耕畜連携や上記の土づくりの取組により地域の模範となっているほか、JA十和田おいらせミネラル野菜（トムベジ）の牽引役として尽力
- ④ エコファーマー認定者（野菜）

中野渡 正光
(十和田市)



- ① トマト
- ② 父親が経営する畜産農場で生産された牛糞堆肥の施用や土壌診断に基づく適正施肥により、安定した収量と品質を確保
- ③ 旧JA十和田市の青年部長を務めたほか、JA十和田おいらせミネラル野菜（トムベジ）の牽引役として尽力
- ④ エコファーマー認定者（野菜）

(有) フレッグ農産
代表取締役

坂本 佐兵衛
(蓬田村)



- ① 鶏糞堆肥
- ② 高床式鶏舎内で6ヶ月以上堆積発酵した鶏糞を、専用工場ですらに十分発酵させた後、機械乾燥させた鶏糞堆肥を年間約2,000トン以上生産
- ③ (社)青森県畜産協会主催の堆きゅう肥品評会で3回入賞した高品質な堆肥の大半を県内生産者に販売
- ④ フレッグ農産は坂本養鶏株式会社の関連会社で、堆肥の製造・販売のほか、卵の流通も担っており、飼料米給与の「米たまご」など様々な商品販売を展開

「日本一健康な土づくり運動」に関する問合せは

青森県農林水産部食の安全・安心推進課

青森県青森市長島 1-1-1

TEL : 017-734-9352 FAX : 017-734-8086

